

# つばた

議会だより

No.147

2018.10.5

## 9月会議

全小中学校にエアコン設置へ前進…………… 2

クローズアップ 糸南小学校区に放課後児童クラブを増設 …… 4

委員会審議 元号改正に伴い基幹システムを修正 …………… 5

議会報告会を開催 …………… 9

いっぱい質問 避難者受け入れホームを公募せよなど 9人が登壇 …… 12

葉っぱの観察 本当に  
緑かな？ (英田小学校)

表紙写真撮影：議会広報調査特別委員 竹内竜也



## 9月会議

## 猛暑の学習環境を改善

## 全小中学校に

## エアコン設置へ前進

調査費300万円計上

9月会議を4日から11日までの会議期間で開催した。  
一般会計・特別会計補正予算、条例の改正などを含む7件、決算の認定11件の議案が提出された。引き続き決算審査特別委員会を設置し、29年度一般会計などの決算審査を付託、町政全般について9人が一般質問を行った。  
議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願2件を採択とし、意見書3件を可決した。続いて、教育委員会委員の任命について同意した。

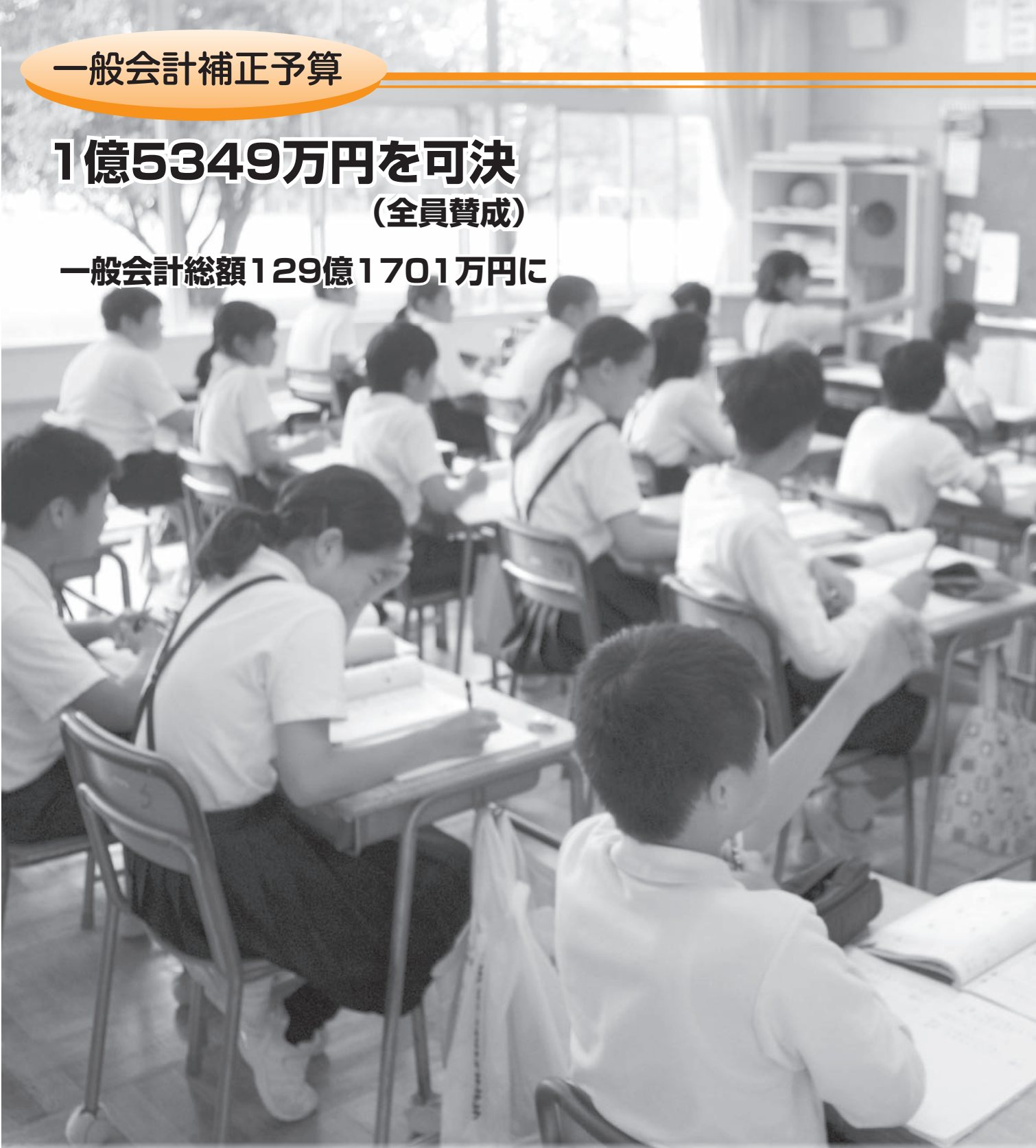
## 近

年、夏季における気象状況は全国的に厳しい暑さとなっている。小中学校の校舎内も気温が上昇し、学習環境として望ましくない。さらに、健康面にも多大な影響を及ぼすことが懸念される。

今後も猛暑が続く可能性を考慮し、児童生徒が安心して過ごせるよう、町内小中学校普通教室へのエアコン設置に向け、調査費を計上する。

# 1億5349万円を可決 (全員賛成)

## 一般会計総額129億1701万円に



▲よりよい学習環境に

町議会のエアコン設置  
に向けたこれまでの取  
り組み

●一般質問

平成25年から3人の議員が計5回にわたり、小中学校普通教室へのエアコン等の空調設備設置に関する質問を行った。

●矢田町長へエアコン設置を要望

平成30年8月17日、議会から町に対し、来夏までにすべての小中学校普通教室にエアコン等の空調設備を設置するよう要望した。

●文教福祉常任委員会から意見書を提出

国に対し、エアコン設置促進に向けた財政支援の拡充を求める意見書を提出した。

(7ページ参照)



こんなことに使われます  
**クローズアップ**

9月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

補正予算とは、当初予算の内容を一部変更する予算です。



▲放課後も一安心

条南小学校区の放課後児童クラブ（あしの子クラブ・ゆめの子クラブ）において、平成31年度以降の入所児童数が定員を超過するため、新たに施設を整備する。

**2822万円**

条南小学校区に  
放課後児童クラブを増設

商工業の

振興促進に助成

**4272万円**

株式会社ベロロズ久世より商工業振興促進助成金の申請があったため、工場増築費用として5%分を助成する。



▲増築された工場

消防分団に

チェーンソーを配備

**42万円**

消防分団にチェーンソー各1台を配備し、地域防災力の充実、強化を図る。



▲災害に備える

庁舎整備基金に

積み立て

**2160万円**

社会福祉法人やまびこからの土地売却代金を庁舎整備基金に積み立てる。合計は約2億8200万円となる。



**人 事**

選任された委員

教育委員会委員

（平成30年10月1日）

任期4年

越村

崇氏

（太田）

新任



（全員賛成）

決算審査特別委員会

平成29年度一般会計決算ほか特別会計7件、事業会計3件の決算審査をする。

委員長 森山 時夫

副委員長 八十嶋孝司

委員 森川 章

竹内 竜也

荒井 克

酒井 義光

塩谷 道子

# 委員会 審議

町議会では2部門の常任委員会に分かれ審議しています。

**総務産業建設**（総務・財政・税務・議会・監査・消防・土木・農林・労働・商工・上下水道など）

◎八十嶋孝司 ○酒井義光 竹内竜也 西村 稔 多賀吉一 向 正則  
谷口正一 河上孝夫

**文教福祉**（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎荒井 克 ○道下政博 森川 章 井上新太郎 森山時夫 角井外喜雄  
塩谷道子 洲崎正昭

（◎委員長 ○副委員長）

各常任委員会で活発に議論されたものを紹介します。

## 総務産業建

### 元号改正に伴い

### 基幹システムを修正

-企画財政課-

**Q** 元号改正はまだ先だが、現時点での作業は、

応ずるための作業を行う。

**A** 新元号の発表は平成31年4月1日で、変更されるのは5月1日の予定であり、その間1か月しかない。発表後、

すみやかに新元号に対する

**Q** 修正費用に国からの補助はないのか。

**A** 何らかの財源措置があればとの思いもあるが、現時点で国からの連絡はない。

## 文教福祉

### 地域包括ケア病床の運用状況は

-河北中央病院-

**Q** 河北中央病院での病床数は、

**A** 現在、60床のうち25床を地域包括ケア病床として運用している。

**Q** どのような場合に入院となるのか。

**A** 医療や介護が必要となっても、住み慣れた地域で住み続けたいという方で、退院後の在宅

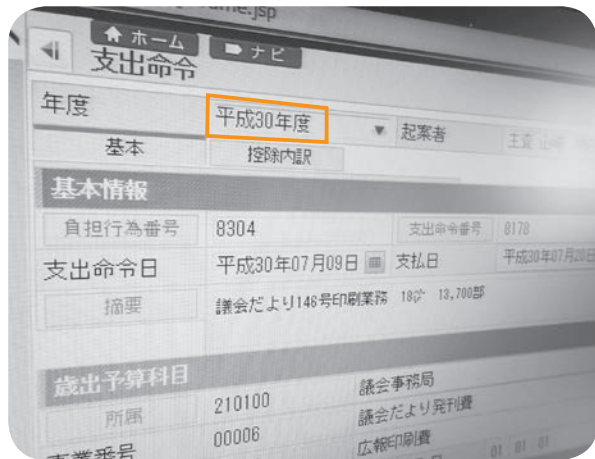
**Q** 入院期間は、

**A** 入院は最長60日間で、在宅復帰および施設への入所が決定したら退院となる。

**Q** 利用者の市町別割合は、平成29年度の地域包括ケア病床と一般病床を合わせ、入院患者全体のうち68%が当町の方だが、かほく市からも25%の利用がある。



▲地域の安心を支える医療



▲システムのスムーズな移行を

みなさまからの

# 請願 2 件を審査

9月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。

請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。

請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

## 採択

### キャッシュレス社会の実現を求める

◎請願者 公明党津幡支部

副支部長 堀田 功  
紹介議員 道下 政博  
(賛成10人・反対5人)

## 反対

キャッシュレス社会を第4次産業革命と理解し利点は認めるが、都市部や大手企業の考えに基づくもので現実的ではない。社会全体に賛同が広がっているとは言えず、地域経済を考慮し中小企業などへの投資こそ重要だ。  
森川 章議員

## 反対

高齢者や低所得者が現金難民になることが懸念され、ネット決済では情報漏えいが生じる可能性が高く、プライバシー保護の点でも問題がある。結論ありきではなく問題点を丁寧に洗い出し、支援の検討こそ必要だ。  
塩谷 道子議員

## 賛成

金融への信頼性を高め、人口減少による労働力不足の解消策としても期待される。情報セキュリティへの不安解消や経済至上主義への危険を防ぐため、法整備やガイドライン設定などの対応を急ぐことが現実的だ。  
竹内 竜也議員

## 賛成

政府は、他国に比べ低水準であるキャッシュレス決済比率を、今後10年間で4割程度に引き上げることを目指しており、決済手段としての現金を否定するものではない。訪日外国人旅行者の需要などへの環境整備を求める必要がある。  
道下 政博議員

## 採択

### 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める

◎請願者 公明党津幡支部

副支部長 堀田 功  
紹介議員 道下 政博  
(全員賛成)

#### 主旨

子どもを虐待から守るには異変を早期に発見し芽を摘むことが重要であり、児童相談所をはじめとした関係機関などの協働による取り組みが必要である。市町村への財源措置や引き継ぎルールの制定、児童相談所と警察による情報共有システムの構築、学校での体制整備などを強く求める。



▲オレンジリボンツリーで啓発

採択された2件の請願は  
意見書を内閣総理大臣ほか  
関係機関に送付しました



## 文教福祉常任委員会発議で 意見書を国に提出

### 公立小中学校へのエアコン設置を促進するための財政支援の拡充を求める意見書

提出者 文教福祉常任委員長 荒井 克

近年、地球温暖化などの影響を受け、全国的に夏の暑さが非常に厳しくなっており、今夏においても連日にわたり真夏日や猛暑日を記録し、命にかかわる危険な暑さが続く状況となっている。

こうした中、小中学校校舎内でも温度が上昇し、学校保健安全法に基づく学校環境衛生基準では、教室内の温度は28度以下が望ましいとされているにもかかわらず、その温度を超えた教室が多数存在している。児童生徒が過酷な環境の中で学習を強いられるだけでなく、健康面にも多大な影響を及ぼすことが懸念される。

文部科学省によると、公立小中学校の普通教室におけるエアコン設置率は平成29年4月1日現在で49・6%となっており、半数以上の自治体が未設置の状況である。今後も夏季の猛暑が続く可能性を考慮すれば、児童生徒が長い時間を過ごす学校内の環境を整備する上で、全教室にエアコンを設置することは極めて緊急度の高い施策と言える。また、設置済みの自治体と未設置の自治体では教育環境に大きな差異が生じており、早急な是正が必要である。しかしながら、学校施設においては、これまで耐震化に優先的に取り組んできており、今後も老朽化対策や防災機能強化などの課題があることから、地方自治体の厳しい財政状況下で、これらの対策とともにエアコンの設置を実施することは大変困難となっている。

よって、政府におかれては、未来を担う児童生徒の教育環境を改善するため、公立小中学校普通教室へのエアコン設置促進に対する財政支援を大幅に拡充するよう強く要望する。

(全員賛成)

## 9月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	議決結果	森川章	竹内竜也	井上新太郎	八十嶋孝司	西村稔	荒井克	森山時夫	角井外喜雄	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	洲崎正昭	河上孝夫
請願 キャッシュレス社会の実現を求める意見書の提出を求める請願	採択 賛10・反5	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	-	○	○	○	×	○
議会議案 キャッシュレス社会の実現を求める意見書	可決 賛11・反4	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	×	○

※議長は採決に加わらないため「-」で表示

### 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
  - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
  - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。  
各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

# 7月会議

524万円を可決

(全員賛成)

一般会計総額127億6351万円に

一般会計  
補正予算



▲日ごろの訓練成果を発揮

7月23日に7月会議を開催し、一般会計・特別会計補正予算など4件の議案が上程された。議案は各常任委員会の審議を経て可決した。

## 訓練で防災力アップ!

○消防団操法大会出場費

165万円

倉見分団の石川県消防操法大会出場のために、必要な消防ホースや活動服などの購入費等。

○全国大会等派遣費

163万円

津幡中学校の柔道部、津幡南中学校の相撲部、ボート部の全国大会出場への派遣費補助金。

### 特別会計

○バス事業特別会計

236万円

町営バス車両1台のミシヨンユニット故障に伴う修繕料。(全員賛成)

### 請負契約の締結

○町道湖東2号線(湖北大橋)鋼桁補修工事

9779万円



▲さびた橋の裏側も補修

(賛成14人・反対1人)

○町道竹橋大坪線道路改良工事(道整備)

8277万円

### 反対

体験型観光交流公園は、町民が望んでいないものではなく税金の無駄遣いと言わざるを得ない。工事は着工には反対する。  
塩谷道子議員

(賛成13人・反対2人)

## 7月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議案	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決結果	議席番号															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
議案	請負契約の締結(湖北大橋鋼桁補修工事)…湖北大橋の延命化を図るため補修工事をする。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	請負契約の締結(町道竹橋大坪線道路改良工事(道整備))…体験型観光交流公園へのアクセス道路を整備する。	可決 賛13・反2	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	

※議長は採決に加わらないため「-」で表示



# 民生児童委員を対象に

テーマは「災害対策」

# 議会報告会を開催

主な質問・意見・要望

(事前受付分も含む)

7月9日、民生児童委員を対象に議会報告会を開催した。第1部は各常任委員会から3月会議での審議内容を報告し、第2部では日本赤十字社石川県支部防災ボランティアリーダーの北村裕一さんを講師に迎え、災害時の避難対応について講演をいただき、その後意見交換を行った。  
民生児童委員とは今回で2回目の実施であり、57人の出席をいただいた。



▲開かれた議会を目指して

## 議会

**Q** 議会がもっと身近になるように願いたい。

**A** 議会では、議会だよりの発行や、ケーブルテレビでの議会中継、インターネットで議会映像の配信、会議録の公開、議会報告会などを行っている。  
今後とも議会の透明性を高め、町民に身近な議会を実現できるように取り組んでいく。

**Q** 議会は地区からの要望を調べないのか。

**A** 議会が直接地区から町に出された要望を聞くことはない。

## 災害対策

**Q** 水害の場合、どこに避難すればいいのか。

**A** (北村氏) 今いるところより高いところへ逃げるのが肝心である。日々、その場所その場所です。どのような動きをすればよいかを考えておくことが大切だ。

**Q** 直下型の地震が来たらどうなるのか。

**A** (北村氏) 河北潟の水位は4m高くなり、水害が発生するので高いところへ逃げてほしい。  
また、地震が起きる

## 学校

と物資が入ってこなくなる。普段から7日分の食料や水の確保を呼びかけている。

**Q** 学校の先生は多忙である。増員などの対応が急務ではないか。

**A** 議会として執行部と協議したい。

## 除雪

**Q** 中山間地では除雪の依頼があってもその家にとり着けない。歩行者用のロータリーを貸し出してほしい。

**A** 担当課に進言する。

## 意見・要望への対応

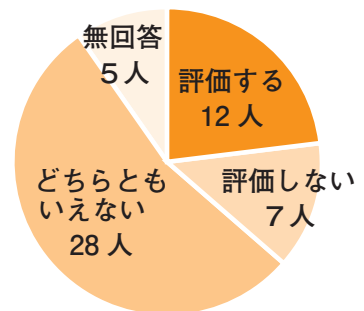
議会報告会でいただいた意見・要望は、内容を整理し、議会自ら取り組むべき項目は、議会内で対応を検討します。  
町政に関する事項は、町当局に報告しました。



▲講師の北村裕一さん

## 【アンケート調査】 議会報告会の評価は？

(回答者 52人)



# 総務産業建設

## 常任委員会

7/26~27

### 新駅設置と上下水道事業の 包括的民間委託を学ぶ

(三重県いなべ市)  
(滋賀県湖南市)



▲住民に喜ばれている新駅（いなべ市）

#### 【研修の目的】

先進地における駅新設・農業公園の取り組み等および上下水道施設の包括的民間委託事業の経緯や経過について視察、研修する。

#### 【研修内容】

##### ・いなべ市役所

いなべ市大泉駅は三岐鉄道北勢線に設けた新駅であり、1日平均300人の乗車がある。農産物販売施設を新駅に隣接させ、パークアンドライド推進のため無料駐車場、駐輪場を設置していることが特徴としてある。

市は毎年補助金を数億円拠出し鉄道の維持に努めているとのことだが、鉄道利用者の大幅増が見られず、採算より住民福祉優先との思いを感じた。

また農業公園は、国際公認パークゴルフコースを備え年間1万5000人以上が、38haの梅林公園には花見として8万人の入園者がある。市から指定管理を受け、入園料と委託料で運営されている。

ここでも採算より高齢者の福祉と雇用の創出が主であると強く感じた。

##### ・湖南市役所

湖南市の包括業務委託には下水処理場の管理が含まれておらず、その分野の専門性は加味されていない。

当町ではコストのウエイトは下水処理が一番大きいと思われる、包括委託になれば専門性が問われることから、応募する業者も限られる。

かほく市での視察同様、自治体職員の専門知識が薄れることへの懸念があることを知らされた。

## 研修報告

議会で受け入れられた視察研修や議員が参加した研修を報告します。

7/17

視察受入

京都府久御山町議会  
総務事業常任委員会  
第6次産業化の取り組み、農業経営に関する施策・支援について

7/18

視察受入

熊本県氷川町議会  
産業建設厚生  
常任委員会  
移住・定住、企業誘致について

7/25

視察受入

栃木県宇都宮市  
議会議員  
通年議会について

8/7

視察受入

岐阜県御嵩町議会  
民生文教常任委員会  
子育て支援対策の取り組み、移住定住促進の取り組みについて

8/8

研修会

県町村議会議長会  
議長・副議長・委員長研修会  
「地方議会の役割と権限」  
講師 全国町村議会  
議長会 参与  
荒井幸弘氏

8/21

視察受入

京都府与謝野町議会  
広報特別委員会  
議会だよりの編集方法について





# 議会広報調査

## 特別委員会



▲町民の意見を取り入れた編集を学びあう  
(那珂川町)

### 議会広報モニターと 広報編集技術を学ぶ

(栃木県那珂川町)  
(群馬県玉村町)

8/2~3

# 先進地に 委員会視察レポート

委員会で行った行政視察や研修で学んだことを  
報告します。



#### 【視察の目的】

議会だよりに住民の意見を取り入れる施策の一つとしてのモニター制度の取り組みを学ぶ。また、より親しまれる議会だよりとするため、先進地の取り組みを学び、その知見を生かしていく。

#### 【研修内容】

##### ・那珂川町議会

議会広報モニターを募集したが応募はなく、委員推薦で委嘱している。モニターからの意見や提案は紙面に掲載し、年に一度懇談会も実施している。

##### ・玉村町議会

親しまれる広報紙を目指すために、意見をどう聞き、紙面に反映させていくかを検討し、取り組んでいきたい。

玉村町の議会だよりは、まず見てもらうことを目指しており、そのために他議会のいいところを吸収し、飽きないように約5年に1回、大幅なリニューアルを行っている。また、議会傍聴者へアンケートを依頼し、住民の意見をうかがっている。学んだことは早く取り入れ、よりよい編集に生かしていくことが必要だと感じた。

## マチイロ スマホ・タブレットで 議会だよりを

広報紙だけではなく、ホームページやFacebookも見ることができ、役立つ情報を見逃しません。さらに、興味に合わせてカスタマイズすることもできます。利用は無料です。App StoreまたはGoogle Playから「マチイロ」を検索してダウンロードしてください。

8/1

視察受入

青森県八戸町議会  
定住促進支援制度の  
取り組みについて

7/31

視察受入

兵庫県篠山市議会  
議会広報特別委員会  
議会だよりの編集に  
ついて

8/28

研修会

県町村議会議長会  
議員・監査委員合同  
研修会  
「舞台裏から見た政治とこれからの政局  
展望」  
講師 政治評論家  
有馬晴海氏

# 問う

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。



井上新太郎 議員

## 共 助

### 避難者受け入れ ホームを公募せよ

困難である

井上 議員

子育てを終えた熟年夫婦、高齢夫婦のみの生活形態の世帯では、2部屋の余裕があれば、世帯の同意を得て災害避難家族を受け入れることが可能ではないか。

災害対策基本法では、災害が発生した場合における適切な避難場所の確保を図るため、政令で定める基準に適合する公共施設、その他の施設を指定避難場所として指定しなければならないと規定されている。

矢田 町長

このことから、民間の個人宅の避難所活用は、構造上の課題も想定され困難と考える。

当町としては、公共施設を中心とした避難所施設の充実を進めることが大切と考えている。



▲早めの避難が大切

## 運営体制は 整備されているか

### マニュアルに基づき 整備する

## 避 難 所

井上 議員

先般の西日本豪雨では、岡山、広島、愛媛県の各地に多大の被害をもたらした、今も3000人以上の方が避難所生活をされている。

避難期間が長期化するにともなうさまざまなトラブルが生じるが、当町で避難所運営に当たるとき、居住スペース、食料、トイレ、身体的弱者など、避難者の健康維持への対応は整備されているか。



▲防災総合訓練でも体制を確認

石庫 総務部長

平成29年5月に作成した避難所開設と運営管理のマニュアルに基づき、避難所運営を行うこととしている。

居住スペースは、1人当たり原則2㎡とし、家族単位を確保する。

食料の備蓄は毎年補充し、目標数量を確保している。

整備を進めているマンホールトイレや仮設トイレに加え、支援協定締結機関からの援助を計画している。

災害弱者などへの対応は、配慮事項を定め確認することとしている。

避難所環境の一層の向上を図っていく。





森山時夫 議員

# 一般質問

# 町政を

## 工業団地とセットで住宅団地を

セットでの造成は考えていない

### 定住促進

森山 議員

平成30年春に、大坪区内に工業団地を造成することが確定した。県外からの企業進出も期待され、人の移動も活発化する。隣接場所に宅地造成地があれば、企業や社員が利用することができ、定住が図られる。

今後、工業、住宅団地セットでの売り込みを提案する。

企業が進出した富田工業団地



### 矢田 町長

移住・定住促進策として、住宅取得等奨励金をはじめとする各種支援制度を充実させ、転入者に対して加算措置を設けている。

工業団地の造成は、企業誘致による町内の商工業の振興と町民の雇用機会の創出と拡大に主眼を置いて取り組んでいるため、現段階では住宅団地とセットでの造成は考えていない。

## センターポール

欠損箇所の修復を

早急に要望せよ

修復すると聞いている

森山 議員

平成22年に国道8号加茂高架橋付近で起きた重大事故の再発防止策として、加茂高架橋・緑が丘交差点の間に設置された

センターポールが欠損状態である。事故防止のために、早急な修復を道路管理者に要望せよ。

岩本 産業建設部長

金沢河川国道事務所金沢国道維持出張所に確認したところ、先般の大雪による一部破損もあるが、大規模な除雪作業のため取り外したものであり、道路の舗装修繕とあわせ、ポールの再設置を予定していると聞いている。町として国土交通省に早急に安全対策を講じるよう強く要望する。

### その他の質問

- Q** 国道8号倉見出入口路肩を除草せよ。
- A** 国土交通省に強く要望する。



▲再び事故のないように



道下政博 議員

## 財政健全化

### 今後10年の考え方は

健全な  
財政運営に努める

道下 議員

今後予定されている小中学校のエアコン設置、平成31年着工予定の庁舎建て替え、その後の屋内温水プールの建設など、大規模な事業がめじろ押しの予定となっている。財政が圧迫される恐れもあり、町民から心配の声も寄せられている。

※実質公債費比率  
借入金の返済額の大き  
さから資金繰りの危険度  
を指標化した数値。

矢田 町長

当町の過去10年の実質公債費比率は、平成19年度には19・0%であったものが29年度には10・8%と改善されている。今後10年の試算では12%以内で推移すると見込まれ、地方債発行に県の許可を必要とする18%を大きく下回る。

今後10年の実質公債費比率をもとにした財政への考え方は。

今後10年の収入状況と国・県支出金等の有利な財源の有無なども考慮し、事業の優先順位を決め、財政健全化を進める。

## 通学時の荷物の軽減化を

学校の取り組みをさらに指導していく

### 小中学校



▲ランドセルが軽くなるように

道下 議員

通学する児童生徒の荷物が重すぎる問題が話題となっている。低学年や体格の小さな児童のランドセル姿を見ると、健康に悪影響を与える観点からも心配である。荷物の軽減化に対する取り組み状況を聞く。

吉田 教育長

通学時の荷物の軽減化を図る取り組みとして、各小学校では、使用頻度の少ない教科書や技能教科に使う道具は、机の中やロッカーに保管するように指導している。週末や月末に持ち帰るものができるだけ重ならない工夫や、学期末は持ち帰り週間に設け、少しずつ持ち帰るよう指導している。今後も学校の取り組みを把握しながら、指導、助言を行う。

### その他の質問

Q AI（人工知能）を行政サービス向上に活用せよ。

A 導入の効果やコストなど調査を進める。





竹内 竜也 議員

## 広域連携に伴い 統一されるのか

検討されていない

### 水道料金

竹内 議員

石川中央都市圏では、上下水道事業の広域連携を推進している。平成29年2月に示された広域連携ビジョンによれば、10年以内に料金収納窓口の共同化を実施し、料金システムの統一を目指すとしている。

このことは圏域内における水道料金の統一を含むものなのか。また、圏域内で生じる内々価格差は、電算システムを統一し収納事務と窓口業務を共同委託することによるコストの削減を目的としており、料金体系の統一に向かうものではない。また、水道料金の圏域内価格差は水源や地形、人口などの条件が事業者ごとに異なることから、統一の検討はされていない。

梶田 環境水道部長

の是正に向けた検討は行われているのか。



安全な水を安定供給  
(町浄水場)

## 消防団員

準中型運転免許取得を

公費で負担せよ

補助金要綱の制定に取り組む

竹内 議員

町消防分団に配備されるポンプ車は、いずれも車両総重量4トンを超える。平成29年3月に道路

の運転要員確保が懸念される。今後、準中型免許が必要となるが、奉仕の精神

交通法改正があり、以降に取得した普通免許では3・5トン未満の運転に限定されたため、出勤時

で活動する団員に取得費用を全額負担させることは酷であり、要した費用を公費で負担すべきだ。

松浦 消防長

消防団員が所持している免許の確認は入団時に行っており、現在、全団員が改正以前の普通免許以上を取得しており、運転には支障がない。今後、準中型運転免許の取得が求められる若い消防団員には、免許取得に係る経費の公費負担が必要だと考えている。

対象や経費などを検討し、補助金要綱の制定に取り組む。

### その他の質問

Q 公文書の性別欄を削除せよ。

A 性別記載の必要がないものは、是非を検討する。



▲若手団員の確保と活動の充実を



森川 章 議員

### 手話言語条例

## 制定の考えは

今のところ考えていない

森川 議員

手話を言語として普及させるため、手話言語条例を制定する動きが広まっている。

県内では、平成29年に加賀市、金沢市、30年に県、白山市、能美市で施行されている。

ろう者と健常者が共生できる社会のために、条例制定が必要と思われる町の考えを問う。

矢田 町長



▲手話を広めよう

当町では、県条例と町障害者福祉計画2017に基づき手話に関する施策を推進しており、今のところ町手話言語条例の制定は考えていない。今後さまざまな事業を展開しながら、聴覚障害のある人の社会参加を支援するとともに、手話に対する町民の理解促進や普及活動に努めていく。

## 取り組みを改善せよ

### 不登校

効果的な取り組みを進めていく



▲魅力ある学校に（津幡中学校）

森川 議員

不登校は全国的に増加傾向にあるが、当町にも数名の児童生徒がいる。学校以外に通う施設がないため、自宅にいるか、町外のフリースクールへ通っている。これらの子どもたちへの適応指導教室の設置、専門職員の育成、配置への取り組みを改善せよ。

吉田 教育長

現在のところ、適応指導教室の設置予定はないが、不登校児の学習の場の一部を学校以外に設ける取り組みや、民間団体との連携による支援を検討していく。

また、町教育センター所長や指導主事、さらに県から配置されるスクールカウンセラーなどを効果的に活用した支援を行うなど、それぞれの職員の資質向上と、配置の実を図っていく。

今後も児童生徒の居場所を大切に魅力ある学校づくりに向けた学校運営を支援し、効果的な取り組みを進めていく。

### その他の質問

Q 児童虐待防止への対策を強化せよ。

A 関係機関と連携を図り早期対応に努める。

Q 防災士の活用を図れ。

A 地区自主防災クラブが拠点となる。





荒井 克 議員

平成30年の豪雨被災地で大量の災害ごみが発生し、仮置き場や処理に時間を要し、衛生面の問題が懸念された。

当町でも災害に対する備えや認識をより高めるために、防災マップに仮置き場を示し、安心、安全につながるよう取り組み。

## 荒井 議員

## 災害ごみ

防災マップに  
仮置き場を示せ

公表は考えていない

2023年4月に供用開始予定の新クリーンセンター建設に伴い、2020年1月までに災害ごみの処理方針や仮置き場などを処理計画に明記する必要がある。

しかし、災害時には仮置き場への搬入路や仮置き場の状況により使用可能かどうかを判断することや、悪臭などによる隣接地の風評被害も考えられることから、今のところ防災マップでの公表は考えていない。

## 柘田 環境水道部長



◀万が一に備えて

## 成人式

成年年齢引き下げによる  
開催時期の変更は

全国の動向を参考に決定する

## 荒井 議員

2022年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、これにより国の成人式開催時期の変更も考えられる。

当町は真夏に成人式を行っているが、国が定められた日に行うことに意義があるのではないかと、今後の町の成人式について、考えを示せ。

## 矢田 町長

成人式の時期やあり方は、各自治体の判断で実施されている。

当町では昭和44年8月から夏に開催し、平成30年度で50回目となり、夏の成人式は定着していると考えている。

今般の民法改正により、8月以外では、18歳年齢の進路がおおむね決まる3月の春分の日、または最終日曜日の開催も選択肢の一つとして考えられる。

今後、全国的な動向を参考にして決定していきたい。



▲半世紀を迎えた夏の成人式



塩谷道子 議員

## 上下水道

### 官民連携は慎重に

委員会を設置し

検討していく

塩谷 議員

当町では、上下水道事業の官民連携事業について、コンサルタント会社の調査結果を考慮して結論を出すとしている。

国では官民連携事業を推進しているが、さまざまな問題が危惧されていることから十分に検討し、慎重に行え。

柘田 環境水道部長

当町の上下水道事業は、将来的に経営状況の悪化が懸念されている。

その課題解消のため、国内外の情勢を踏まえて、官民連携をはじめとした手法の調査、検討を行ってきたが、現段階で決定した事項はない。

今後、上下水道事業の健全経営は、学識経験者を含んだ委員会を設置し意見を求め、さらに検討していく。



▶水道事業の行方は

## 消雪道路の設置計画は

## 町 道

### 本津幡横浜線で 実施予定である



▲大雪に悩まされた町道

塩谷 議員

異常気象が続く中、今後も大雪が懸念される。県道の消雪道路は少しずつ延長が認められると聞くが、町道はどのような計画になっているのか。

また、各地区での消雪装置設置の優先順位は、どのような基準で決まるのか。

岩本 産業建設部長

現時点で、町が管理する未整備の消雪路線は、横浜市内の本津幡横浜線で、都市計画道路事業にあわせて整備を予定している。

今後新たに整備するには、国の交付金を活用して実施する必要があり、交付金の採択基準を満たしていることが条件となる。

必要性や効果など、機械除雪と比較、検証を行い、進めていきたい。

### その他の質問

**Q** 町役場での障害者雇用は正しく行われているのか。

**A** 行われている。

**Q** 通学路に危険なブロック塀はないのか。

**A** 安全点検を実施する。





八十嶋孝司 議員

八十嶋 議員

大変厳しい暑さが続く中、7月中旬に全国の教育委員会では、児童生徒が熱中症にかからないように部活動に制限を設けた。児童生徒への安全を最優先し、対策を講ずることは重要である。

教育委員会から部活動などへの活動制限に関する指示通達が行っていないが、学校現場では、児童生徒の健康状態に配慮したさまざまな対策が行われていた。

今後とも児童生徒の状態を注意深く観察できる学校現場の判断を重視し、柔軟に対応することが適切であると考える。

熱中症対策

小中学校部活動などの制限は

学校の判断で行われている



◀小まめな水分補給を

防災力向上

全戸訪問し

広く呼びかけよ

さまざまな手法を検討していく

八十嶋 議員

小松市消防本部では、市民に防災に関するアンケートを実施した結果、防災意識の低下が見られたため、防災力向上に向けた全戸訪問を計画している。

災害に対する町民の意識向上を図ることは重要である。町として、防災に関するアンケートを実施し、全戸訪問など防災力向上を呼びかけよ。

松浦 消防長

全戸訪問は、直接住民と接することで防火・防災の指導を行うことができる。現在行っている火災警報器の戸別訪問時に普及・啓発を行うとともに、各種イベント時にあわせて防火・防災に関するアンケートを実施し、意識調査を行いたい。

その他の質問

Q 学校閉庁日の取り組みは。

A 一定の成果があった。



▲防災意識を高めるために



西村 稔 議員

## 防災意識

### 海拔表示板を

### 増設せよ

現設置箇所を基本に行う

西村 議員

東日本大震災が発生した平成23年から、全国的に海拔表示板が電柱、ごみステーションなどに設置された。

平成29年5月に、県は拡大された津波浸水想定区域図において被害想定の見直しを行ったが、当町ではこれまでと同様、河北潟干拓地のみとなっている。

矢田 町長

25年に海拔表示を設置した箇所を基本として、引き続き住民への意識啓発を行っていく。



▲防災情報で意識向上を

# 議会を傍聴しましょう

12月会議は、12月4日(火)からの予定です。

- 傍聴受付日時 12月4日(火) 午前8時30分～
- 定員 35人
- 受付場所 町役場3階 議場入口前

議会の会議録は  
町議会ホームページで  
見ることができます。



津幡町議会HP

- ◎初日は、議案の提案理由の説明と町政一般質問が行われる予定です。
- ◎各常任委員会審議も傍聴することができます。
- ◎日程は変更になる可能性がありますので、詳しくは町議会ホームページをごらんになるか、下記までお問い合わせください。

本会議は、ケーブルテレビ（生中継・録画）やインターネット（録画）でもごらんいただけます。

お問い合わせは、議会事務局（TEL288-6410）



# 追跡 あの質問のゆくえ



▲安心して出産準備を

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

## 鷹の松墓地公園に合葬式墓地を整備せよ 平成27年9月会議 荒井 克議員 西村 稔議員

少子化や都市化など社会情勢の変化により、無縁墓が増加している。管理の面、また進行する高齢化に対処するためにも、合葬式墓地が必要であると考えられる。鷹の松墓地公園に整備してはどうか。

### 答 弁

## 要望が多ければ具体的に検討したい

無縁墓が増加し、環境に悪影響を及ぼしていることは確かである。合葬墓は、こうした問題を解決する一つの方策とも考えられる。先進事例、施設形態などを調査、研究しているが、要望が多ければ、予定地など具体的な検討をしていきたい。

### その後

## 30年8月に合葬墓が完成

平成28年10月ごろ、町営墓地使用者を対象に墓地に関するアンケートを行った。その結果などを踏まえ、墓地に対する新たなニーズに対応するため鷹の松墓地公園に合葬墓を整備し、30年8月から運用を開始した。9月14日現在で納骨堂90人、埋葬室17人の申し込みがあった。合葬墓への移行に伴い一般墓地に約20の空き区画が生じたため、年内に再販を予定している。

## 出産予定日以降の妊婦健診も 公費負担に 平成29年12月会議 竹内 竜也議員

妊娠初期から40週に至るまでの標準的な健診回数14回分は、当町でも公費負担の対象となっている。しかし、40週までに胎児が出生しない場合、15回目以降の健診は全額自己負担となる。早産など、14回の受診に至らなかった助成分を15回目以降に振り替え、予定日以降の健診も助成の対象とせよ。

### 答 弁

## 検討していく

平成28年度、当町において出産した307人のうち、41週以降の出産が11人であり、中には実費で健診を受けた方もいると推測される。母親が安心して子どもを産むためには、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減は重要であるとの認識から、出産予定日以降の公費負担を検討していきたい。

### その後

## 30年4月から助成開始

平成30年4月から町内に住民票を有する妊婦に対し、出産予定日を過ぎた15回目から17回目までの健診費用の助成を開始した。安心して出産できる環境を整えることで、少子化対策や定住促進につながることを期待している。

# みんなで楽しくやってみよう!!

## こども絵画サークル

### サークル紹介第36回

楽しく描き続けましよう!



こども絵画サークルは、みんな仲良く絵を自由に描く楽しさを身をもって習得し、より以上に自ら考えた感性豊かな作品を創作する環境づくりに努めています。

このサークルは、飯田恭彦講師で12年目になりますが、10〜12名の会員で、1年生〜3年生は水彩画、4年生以上は油彩画（アクリル画）を描き、基本となる心（観察力）、

代表 飯田 道子

技（表現力）、体（根気力）を少しでも習得し、上達するように指導しています。

次世代に引き継がれる津幡町の芸術文化を存続し発展させていくためには、子どもたちの養成と育成が不可欠なことだと考えます。

これからも楽しく描き続けられる場所として継続させていきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

◆活動場所と時間

津幡地域交流センター  
毎週金曜日  
16時30分〜19時

◆連絡先

☎ 289-3680  
(飯田)

表紙の題字は

太白台小学校6年

山本 伊織さんの作品です。

太白台小学校は友達がたくさんできて楽しいです。  
また、高学年では委員会やクラブ等協力して取り組んでいます。皆と支えあい、協力できることがとても楽しいです。



### 表紙の風景

英田小学校4年生がMIAの森で総合学習を行いました。



議会広報調査特別委員会

- 編集委員長 荒井 克
- 副委員長 八十嶋孝司
- 委員 森川 章
- 竹内 竜也
- 井上新太郎
- 塩谷 道子

議会だよりの感想をお寄せください...